

立命館大学学友会マガジン

Action!

2019



立命館大学学友会

#想いをカタチに学友会

立命館大学学友会とは？

キミだけのサークルを見つけよう

もっと知ろう、学友会の活動

大学の施設を利用しよう



立命館大学学友会

企画・発行

立命館大学学友会
中央常任委員会



@rits_gakuyukai

www.ritsumeai.club

立命館大学学友会

検索



「好きになる」が きつとある

立命館大学へようこそ。

皆さんは、今まで熱中するほど好きになったものはありますか？

立命館大学には、多くの学び、多くの仲間、多くのサークルがあります。

きつと、胸を動かすものが見つかるはずですよ。

それを見つける過程で、必ず何かをつかみ、成長するでしょう。

大学で「好きになる」こととの出会いを楽しもう。

さあ、無限の可能性を秘めた冒険へ。

#想いをカタチに学友会

INDEX

立命館大学学友会とは？

学友会のいろは	p.4
学友会の活動	p.6
財政運営・互助活動	p.8

キミだけのサークルを見つけよう

サークルの見つけ方	p.10
サークルQ&A	p.12

もっと知ろう、学友会の活動

全学協議会	p.14
新歓運動	p.16
学園祭	p.18
スポーツ 立同戦・KG戦	p.21

大学の施設を利用しよう

新たにできた大学の施設	p.22
キャンパスマップ	p.24

立命館大学学友会 会則	p.28
おわりに	p.30

学友会のいろは

立命館大学学友会とは？

What is GAKUYUKAI?

学友会について

立命館大学学友会は、立命館大学のすべての学生が加盟し、学生による学生のための活動を行う、日本最大の学生自治組織です。「想いをカタチに」を活動理念とし、大学における学生生活の発展・向上、そしてそれらを通じた学園や社会の発展に寄与するべく活動しています。

理念

Philosophy

「想いをカタチに」

学生による学生のための自治組織として、学生生活や学園全体を発展・向上させるべく活動しています。



構成員数

Members

約3.26万人

立命館大学の全ての学部生約3万2600人が構成員の日本最大の学生自治組織です。



活動資金

Fund

1.85億円

学生を対象に、大学より代理徴収された学友会費によって活動しています。



設立

Establishment

1947年

現在の学友会は「平和と民主主義」の教学理念に基づき、戦後に再建された学生自治組織です。



立命館大学学友会

INFOGRAFICS

データで紐解く学友会

学友会の活動

学友会では、下図のような6つの活動を柱としています。

サークル支援についてはp11を参照

課外活動支援

課外自主活動団体への各課外本部・中央事務局による支援活動

全学行事

新歓運動や学園祭など全学行事の運営

全学行事についてはp16を参照

財政運営についてはp8を参照

財政運営

学友会費3原則「正当性」「透明性」「還元性」に基づき学友会費を運用

学友会活動の6本柱

互助活動

オリター・エンター団による新入生支援や事業系団体による活動

互助活動についてはp9を参照

要求実現運動

全学協議会や五者懇談会など、学生の声を大学に届ける活動

全学協議会についてはp14を参照

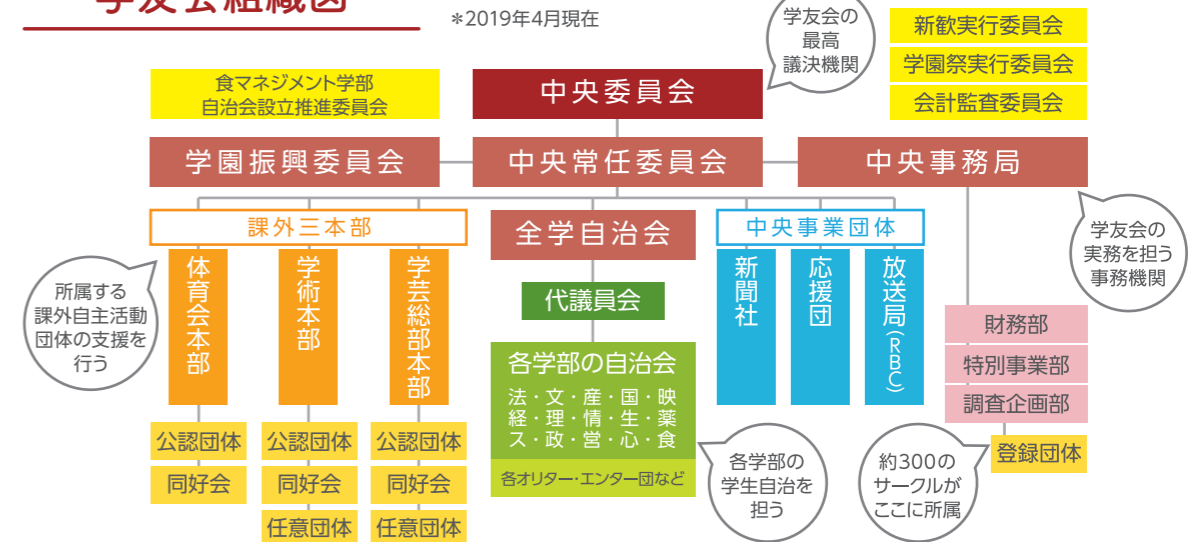
選挙運動

学生自治を担う自治委員選挙や代議員選挙、総長選挙など

選挙運動についてはp7を参照

学友会組織図

*2019年4月現在



学友会の最高議決機関

新歓実行委員会
学園祭実行委員会
会計監査委員会

学友会の実務を担う事務機関

各学部の学生自治を担う

約300のサークルがここに所属

学友会中央パート



学生の代表として学友会の意見をまとめたり、学園祭などの全学行事を運営したりするとき、その取り組みには学生の総意が反映されていなければなりません。そこで、各学部の自治会・課外本部といった学部・課外自主活動団体に所属する学生の代表や事業系団体など、それぞれが抱える学生の意見や現状を認識した上で、学友会としての意思決定を行う場として「中央委員会」が設置されています。中央委員会は学友会の最高意思決定機関で、学友会の予算やその裏付けとなる活動方針・総括を中心に審議しています。中央委員会を構成しているパートは「中央パート」と呼ばれ、大きく4つのセクションに分けられます。

基幹パート

「基幹パート」は中央常任委員会、中央事務局、全学自治会を指します。中央常任委員会は、中央委員会を運営・統括し、すべての学友会活動の総合政策を行います。中央事務局は、中央委員会での決定事項を具現化する事務・実務機関です。学友会の財政運営・処理を担う財務部、新歓・学園祭などの全学行事の運営を担う特別事業部、広報や事務局の備品管理・サークル支援を担う調査企画部の3部門からなります。全学自治会はすべての学部自治会の統括・支援を行い、学生の声を政策に反映させます。

事業系パート

「事業系パート（中央事業団体）」は、立命館大学新聞社、立命館大学放送局（RBC）、立命館大学応援団の3団体を指します。事業系パートは、各団体が培ってきた技術や資源・経験を存分に活かし、大学全体を盛り上げる役割を担っています。ほかの課外団体にはない特徴的な技術や他を圧倒させるパフォーマンス、高いクオリティはもちろん、大学全体を巻き込む力がある団体として、中央パートに位置づけられています。

課外系パート

「課外系パート（課外三本部）」は体育会本部、学術本部、学芸総部本部を指します。本学にはさまざまな課外自主活動団体（部活・サークル）が存在します。各団体は体育会・学術・学芸といった3領域に分けられ、それぞれに属する団体の活動を実務面で支援し、活動の発展を目指すのが課外三本部の3組織です。約110の団体が課外三本部に所属し、活動しています。これら3つの領域に属さない団体や、設立間もないサークルなどは登録団体として中央事務局に所属し、支援を行っています。

自治会系パート

「自治会系パート」は、各学部を代表し、学部生の代表としての意思表示を行い、要求実現運動を担う重要なパートです。法・文・産社・国関・映像・経済・理工・情理・生命・薬・スポ健・食マネ・経営・政策・総心の15学部に自治会が存在し、それぞれの学部の代表として、中央委員会の議決権を持っています。また、オリター・エンター団を内包し、新入生に対するピア・サポート活動も担っています。

自治会の活動

学友会の重要な役割を担う機関の1つが自治会系組織です。各学部を代表し、学友会中央パートにおける各委員会の一議決権保持パートとして、また各学部に対する要求実現運動の形で、学部生の代表としての意思表示を行うことが主な役割です。また、オリター・エンター団を内包し、新入生に対するピア・サポート活動も担っています。

特に、要求実現運動は重要な使命の1つです。立命館大学では、大学を構成するすべての人によって大学の運営を行っていくべきであるとする「全構成員自治」の理念に基づき、各学部の自治会では学部生の意見を集約し、要求実現へとつなげる役目を果たしています。中でも、五者懇談会の開催は各自治会にとって大きな役割です。五者懇談会とは、学生の代表である自治会委員長、学部長、副学部長、学生主事、事務長の五者をはじめ各部署の代表が参加し、自治会から大学に対して学部生の要求を伝え、議論します。



選挙運動

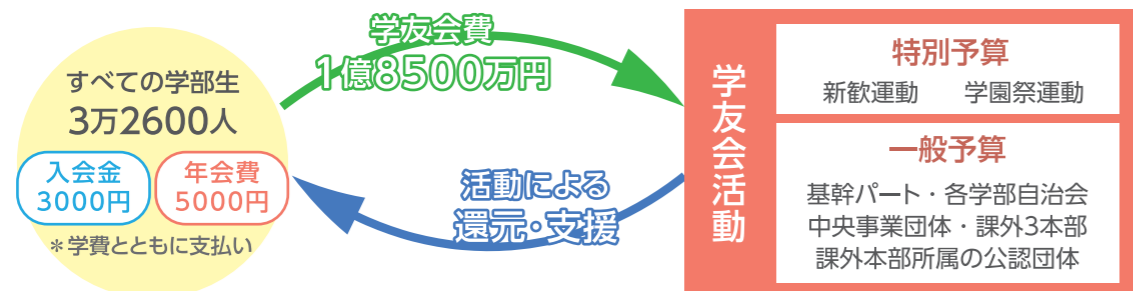


各学部の自治会を構成するのは、各クラス・学年の代表である自治委員や学部を代表する自治委員長です。学生の意見をまとめるリーダーとなる自治委員を選出するのが、毎年5月に行われている自治委員・自治会役員選挙です。自治会選挙は全学自治会選挙管理委員会が管轄しています。全学自治会選挙管理委員会は全ての学部自治会の選挙を監督し、各学部に選挙管理委員会を設置し、運営を助けます。選挙がなくては、自治会で中心となって活動していく人が選出できず、自治委員なしには自治会の活動はできません。

選挙運動は自治委員選挙の他に、各学部の自治委員の中から学部生の代表を選ぶ代議員選挙があります。代議員は各学部の代表者として、全学自治会の構成員決定や学友会会則の改正など、学友会に関する重要事項を議決します。2018年度の代議員会は6月に行われ、学友会会則の改正、全学自治会規約の改正の2議題を審議し、全学自治会委員長の選挙をあわせて実施しました。

選挙運動は学友会の活動を支える構成員を選ぶ、重要な活動です。すべての学部生が投票権を持つので、積極的に投票に参加しましょう。

財政運営



立命館大学学友会では、学部生のための様々な活動を支えるため、構成員であるすべての学部生から学友会費を徴収しています。入会金として3000円、年会費として5000円を徴収し、3万2600人の学生から計1億8500万円を集め、運用しています。学友会費の徴収は大学側に委託し、学費と一緒に徴収を行っています。

学友会費は、新歓運動・学園祭運動など全学行事運営に用いる特別予算と、課外自主活動団体の活動に用いる一般予算に分けられます。課外自主活動団体へは、公認団体以上の団体に対し学友会費での財政支援を行い、活動を支援しています（団体の区分についてはp11を参照）。

1.85億円という巨額な学友会費を正しく公正に運用するための原則として「正当性」「還元性」「透明性」の学友会費3原則を定めています。いわば学友会の税金とも言える学友会費は、私的運用や使途不明の出金は厳禁です。そのため「会計監査委員会」を設置し、学友会費が適切に出金されているか、前年度の決算を監査しています。

また、学友会費を支払っている学生や社会に対する責任として、財政公開を毎年ホームページで行っています。前年度の会計監査を受けた収支報告と、当該年度の年間予算を公開し、現在は2018年度の財政公開を行っています。

学友会費3原則

正当性

学友会費の性質を踏まえた上で出金するにふさわしいものなのか

還元性

学友会費を支払った学部生に対して還元される企画や、それに付随した活動に利用されているか

透明性

学友会費の使いみちや購入品の利用方法が明確になっているか



立命館大学学友会
2018年度財政公開
(2017年度収支報告・
2018年度年間予算公開)



互助活動

ピア・サポートとオリター・エンター活動

立命館大学には、学生同士が主体的に学びあい、支えあう「ピア・サポート」のしくみが数多く存在し、他大学にはない特色の1つとなっています。約40団体・約4000名の学生がサポーターとして支援活動を行っています。学生の学生による支援である「ピア・サポート」は、出身国や地域、価値観など多様なバックグラウンドをもつ学生が出会い、相互の学びと成長の機会となっています。

中でも学友会の活動の中で、新入生支援を行っている「オリター・エンター活動」は本学のピア・サポートの先駆けです。1960年代ごろから学友会が自発的に新入生支援を行ったことに始まり、1991年での全学協議会で制度化されました（詳しくはp14）。

オリター・エンターは各学部の自治会の内包組織として活動を行い、新入生の支援を行っています。新入生にとっては最も近い先輩として、何よりも心強い味方です。不安の多い大学生活の始まりを支え、学生生活をサポートします。



中央事業団体による活動

立命館大学新聞社、立命館大学放送局（RBC）、応援団の3団体からなる中央事業団体（事業系パート）は、ほかの課外団体にはない特徴的な技術や他を圧倒させるパフォーマンス、高いクオリティを持っています。立命館大学新聞社は、学友会発足前から学生新聞を発行し、学生メディアとして学生の目線から様々な情報発信・報道を行っています。立命館大学放送局（RBC）は卓越した技術とステージ運営のノウハウを持ち、番組制作や大学のイベントでのステージ運営を行っています。立命館大学応援団は吹奏楽部とチアリーダー部が二部一体で応援団として活動し、体育会の応援や地域貢献など、多岐にわたる活動を行っています。



キミだけのサークルを見つけよう

How to find the club

立命館大学には450を超える課外自主活動団体(部活・サークル)が存在し、学生の約7割がその活動に参加しています。同じジャンルでも様々な団体があり、それぞれに特徴があります。選ぶのに困ってしまうほど数が多いですが、逆に言えばそれだけ多くの可能性が立命館大学には存在しているということです。部活やサークルで過ごすあなただけの大学生活は、将来にとってきっと、かけがえのないものになるはず。さあ今こそ、あなたの将来を輝かせるサークルを見つけよう。

サークルのを見つけ方

How to find the club



サークルブースを回る

毎年4月3・4・5日に開催されるウェルカムフェスティバルでは、各キャンパスでサークルの紹介ブースが設置され、新入生歓迎のステージ企画が行われます。実際にサークルに所属している人から話を聞くことができるイベントです。

「Circle Collection 2019」で見つける

学友会が発行するサークル紹介冊子「Circle Collection 2019」では、学友会に所属する部活・サークルの紹介に加え、活動場所や活動時間、代表者の連絡先を掲載しています。スポーツ・ボランティア・文化表現研究・中央パートのカテゴリから、サークルを探ることができます。



大学のサークル紹介サイトで調べる

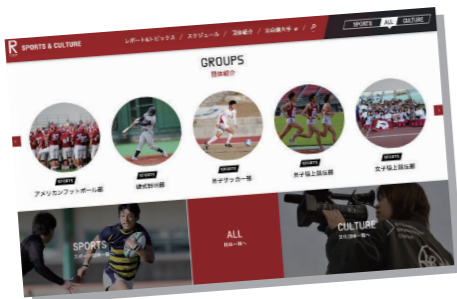
立命館大学に登録されている団体の活動内容は、すべて大学のHPで紹介されています。活動内容や活動場所などをチェックして、自分にあったサークルを探してみましょう。

立命館大学 団体紹介

検索



<http://www.ritsumei.ac.jp/sports-culture/>



入りたいサークルが見つかったら

When the club you want to enter is found



団体の代表者に連絡する

入りたいサークルが見つかったら、まずはその団体の代表者に連絡をとってみましょう。連絡先は「Circle Collection 2019」記載のメールアドレスや各団体の SNS など、入部・入会したい旨や見学したい旨を伝えましょう。

実際の活動場所に行ってみる

興味があるサークルを見つけたら、実際の活動場所に行って見学をしてみましょう。活動場所や時間は「Circle Collection 2019」や大学の団体紹介サイトに掲載されています。自分の目で見て、サークルを決めるのも大切です。



団体の区分

Group classification

立命館大学には450以上の課外自主活動団体(部活・サークル)があり、学友会所属団体だけでも約430団体が活動しています。各サークルは課外本部という組織に属し、各課外本部で各サークルの支援を行っています。具体的にはよりよい活動の発展のために大学と話し合ったり、学友会費から活動費用の一部を助成したりしています。これらの支援は全て学生だけで行っています。

課外本部には学芸総部本部・学術本部・体育会本部・中央事務局の4つがあります。またサークルは規模や実績によって公認団体・同好会・任意団体・登録団体の4つに分類されています。分類が上の団体ほど、大学や学友会からの支援が手厚くなりますが、その分責任も大きくなります。これ以外に、学生自治を担う各学部自治会や、全学行事の運営を担う事業系団体などの中央パートがあります。

各課外本部の特徴

- 学芸総部本部** 文化系団体が多く集まる
- 学術本部** 研究系団体が多く集まる
- 体育会本部** スポーツ系団体が多く集まる
- 中央事務局** 設立間もない登録団体が多く集まる

主な団体区分ごとの権利

- 中央パート** 学友会費補助あり・施設利用(制限なし) 個別の部屋(BOX)あり・中央委員会議決権あり
- 公認団体** 学友会費補助あり・施設利用(制限なし) 個別の部屋(BOX)あり
- 同好会** 施設利用(制限なし)・他団体と共同でBOX使用可
- 任意団体** 施設利用(制限なし)
- 登録団体** 施設利用(週1回)

*記載された権利はほんの一例です。詳しくは課外自主活動団体ハンドブック(大学HPの在学生のページよりダウンロード可能)をご覧ください。

よくある質問にお答え!

サークル Q&A

Frequently asked question about the club

Q 他キャンパスのサークルに入りたいんだけど ...

A もちろん可能です!

入りたいサークルが衣笠・BKC・OIC のいずれかのみでしか活動してない場合がありますが、そういった場合でも諦める必要はありません。まずは実際の活動場所と時間を確認しましょう。学外施設を利用していたり、活動頻度が少なかったりすれば、他キャンパスのサークルでも十分活動できるでしょう。

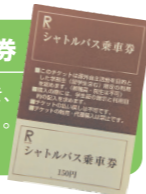
また立命館大学では、3キャンパスを結ぶシャトルバスを運行しており、乗換なしでキャンパスを移動することができます。運賃も、サークルでの利用であれば片道150円と大変安価に利用することができます。実際、講義終了後にシャトルバスを使って他キャンパスのサークルに参加することは珍しくありません。シャトルバス以外にも、各キャンパス間は公共交通機関が充実していますので、電車やバスを利用してスムーズにキャンパス間移動が可能です。興味のあるサークルがあれば、まずは活動を数回見学し、今後も続けられるか考えてみるといいでしょう。



各キャンパスを結ぶシャトルバス。時刻表や運行スケジュールなど、詳しくは p24 をご覧ください!

シャトルバスの割引回数券

正課やサークル活動時に使用でき、5枚綴りで750円(1枚150円)。各キャンパスの生協で購入可能。



Q サークルの代表者に話を聞きたい!

A 直接メールしてみましょう。

まずは「Circle Collection 2019」に記載されている団体の代表者にメールしてみましょう。また活動場所に直接行ってみるのも1つの手です。初対面の人であっても、そのサークルに興味を持っていることを伝えれば、きっと話を聞いてくれるでしょう。また代表者の方にメールしても返事が来なかったり、活動場所がわからない場合は中央事務局までお問い合わせください。

Q サークルを作りたい!

A サークル自体は自由に作れます。

入りたいサークルがない場合は、自分で作ってみるのも1つです。サークル自体は自由に作るすることができます。また、サークルを立命館大学学友会に登録することにより、施設の貸与など様々な支援を受けることができます。団体の新規募集は毎年5月と10月に募集を行います。詳しくは学友会ホームページ・中央事務局までお問い合わせください。

デジタルサイネージを使って 情報発信しよう



デジタルサイネージは、従来の宣伝方法である看板やポスターに代わり、ディスプレイを用いた情報発信媒体です。近年では駅や商業施設に多く設置され、広告や最新情報の発信に使われています。デジタルサイネージのメリットは、動画や画像を用いているので、紙媒体の看板やポスターに比べ効果的に情報発信を行うことができます。

立命館大学では、課外自主活動団体が使うことのできるデジタルサイネージを複数設置しており、学友会中央事務局や学生オフィスに申請があれば、学友会に所属するどの団体も利用することができます。イベントの告知等に活用してください。

衣笠キャンパス

申請方法

利用1週間前までに、学友会ホームページにてデジタルサイネージ掲出依頼を申請し、コンテンツデータを提出してください。(申請先: 中央事務局調査企画部)



掲出可能コンテンツ ビラ等、静止画、動画

* 企画等の情宣に限り、部員募集目的の情宣はできません

利用可能団体

中央パート、各本部所属の公認団体・同好会・任意団体、登録団体、中央任意団体

サイネージ設置場所

以学館、諒友館、洋洋館、恒心館、学生会館

掲出可能期間

1~2週間程度(要相談)

*2019年3月現在

びわこ・くさつキャンパス

申請方法

BKC 学生オフィスにて利用申請書に記入し、USB等でデータを持参してください。受付日の翌週月曜日から上映開始されます。(申請先: 学生オフィス)

サイネージ・マルチビジョン設置場所

スポーツ健康 commons リラックス commons、セントラルアーク 1F マルチビジョン

利用可能団体 学友会所属団体、プロジェクト団体等

掲出可能期間 3週間

掲出可能コンテンツ 静止画、動画

* 団体紹介・企画等の情宣に限り、部員募集の情宣はできません

大阪いばらきキャンパス

申請方法

OIC 学生オフィスにて利用申請書に記入し、USB等でデータを持参してください。(申請先: 学生オフィス)

サイネージ設置場所

A棟コンコース1階(北・南)、2階(北・南)、3階(南)、4階(北)

利用可能団体 学友会所属団体、プロジェクト団体等

掲出可能期間 要相談

掲出可能コンテンツ 動画が望ましい

* 団体紹介・企画等の情宣に限り、部員募集の情宣はできません

* 衣笠キャンパスの学友会サイネージ利用の際は、必ず学友会ホームページを確認してください。

* BKC・OICでのサイネージ利用の際は「課外自主活動ハンドブック」を確認し、各学生オフィスへ相談してください。

2018年度第1回全学協議会

要求実現運動 全学協議会 Plenary Council

学生の「声」を大学に届ける 要求実現運動の最たる場



全学協議会とは

立命館大学では、大学を構成するすべての人によって大学の運営を行っていくべきであるとする「全構成員自治」の理念に基づき、大学を構成する各パートが立命館大学の学園づくりについて協議する場として「全学協議会」を設けています。全学協議会は、学生の代表である学友会、大学院生の代表である院生協議会連合会、教職員の代表である教職員組合と、大学を代表して常任理事会、オブザーバーとして立命館生活協同組合の5パートが参加します。教育・研究、学費、学生生活全般の課題について議論し、この議論を踏まえて様々な施策や改善が行われます。学生の声を大学に届ける、要求実現運動の最たる場です。

全学協議会の開催にあたり学友会では、各学部の自治会などにより学生の「声」を集約します。集約された意見をもとに学友会の意見としてまとめ、各学部で行う五者懇談会や、キャンパス懇談会を通して大学側などと議論を行います。こうして課題点をまとめ、全学協議会代表者会議や各種懇談会を重ねてはじめて、全学協議会の場での議論を行うことができます。

全学協議会での議論内容や合意された事項は確認文書としてまとめられ、各パートの代表者が調印を行います。確認文書をもとに、今後の大学運営や全学協議会に反映されます。



2018年度全学協議会確認文書調印式の様子

全学協議会で実現したこと（一例）



2003年、学友会が1万人の学生の署名を集め、BKCの学生交流拠点としてセントラルアークが設立されました



新入生のサポートを行うオリター・エンター活動は、全学協議会を経て大学の制度として位置づけられました



2016年全学協議会を受け、自主的に集団で取り組む異文化・国際交流活動に対する助成制度が創設されました



2016年全学協議会を受け、キャンパスづくりのプロセスに学生が参加し、意見を反映できるようになりました

2019年度全学協議会へ向けて

2018年度全学協議会では、①正課・課外における学びの充実について②留学生を含む国際化、ダイバーシティ・インクルージョンの推進について③キャンパス環境の質向上について④大学院教学の充実について⑤学費提起と2019年度全学協議会の開催についての5議題が話し合われました。学友会からは休講措置の問題、教育の質向上、課外施設の整備、オリター団など初年次教育の高度化、教養教育改革、ダイバーシティ・インクルージョンの実現、留学支援、キャンパス禁煙化に関する課題、食環境の改善などについて提起しました。

全学協議会や代表者会議での議論を受け、休講措置の改善や留学生支援コーディネーターの設置、試験前の学習スペースの拡大、昼食時の食事スペース増加など、すでに改善が始まっています。一方で学園の可視化や教学の質向上、キャンパス禁煙施策、学部教学の具体化など残された課題も多くあります。今後は、2018年度全学協議会の確認事項具現化に加え、2019年度全学協議会へ向けた活動を行っていきます。





全学行事 新歓運動 Welcome Festival



新歓運動とは？

立命館大学に入学した新入生のみなさんに、大学生活のよりよいスタートを切ってもらうため、様々な新歓企画を行うのが新歓運動です。入学から1か月の「新歓期」とよばれる期間に新入生の不安を軽減し、ウェルカムフェスティバルをはじめとする催しを行うことで、新入生に大学生活への期待感を高めてもらいます。

ウェルカムフェスティバル

毎年4月3・4・5日に開催されるウェルカムフェスティバルでは、各キャンパスでサークルの紹介ブースが設置され、新入生歓迎のステージ企画が行われます。実際にサークルに所属している人から話を聞くことができるイベントです。

サークルブースのほかにも、ダンスや演奏などパフォーマンス系団体などによる新入生歓迎ステージも各キャンパスで行われます。

大学全体で新入生歓迎ムードを創り出し、新たな大学生活の始まりを祝福します。





全学行事

立命館大学学園祭 Ritsumeikan Univ. Festival



2018年度学園祭
ロゴキャラクター
「リッツ・ブラザーズ」

立命館大学に所属する多くの学生が、日頃の活動の成果を発表し、学生文化を発信する祭典、それが学園祭です。多様なサークルが一堂に会し、本学の学生のみならず学外へ向けても発信する場です。



2018年度立命館大学学園祭概要



メインテーマ Be hungry.

開催場所・日時 <OIC 祭典> 大阪いばらきキャンパス
2018年10月14日
<衣笠祭典> 衣笠キャンパス
2018年11月11日
<BKC 祭典> びわこ・くさつキャンパス
2018年11月25日

来場者数 OIC 祭典 7583人
衣笠祭典 1万8505人
BKC 祭典 1万1902人
総計 3万7990人



2018年度の学園祭は3キャンパスで計3日間開催しました。メインテーマには「これまでの学園祭へ満足することなく食欲に取り組み、参加する人も来場する人も、存分に楽しんでほしい」という意味を込めた「Be hungry.」を掲げました。3キャンパスで合わせて約3万8000人が来場し、例年以上の盛り上がりを見せました。模擬店や縁日企画は多くの人で賑わい、ステージや団体企画も盛況。秋晴れのもと、学生のみならず、地域の方をはじめとした多くの来場者が訪れ、年に1度の「祭」は大いに盛り上がりました。



立同戦は、関西学生野球の春季・秋季リーグ最終節で、本学と同志社大学が対戦する伝統的な試合です。両校が優勝を争って戦うことも多く、わかさスタジアム京都で緊張感ある試合を繰り広げます。2018年は春季リーグの立同戦を制し完全優勝、秋季は立同戦を制しましたが惜しくもリーグ2位でした。学友会では、体育会本部・硬式野球部・応援団などから「立同戦対策委員会」を結成し、立同戦の勝利を後押しするための企画・広報を行っています。



硬式野球 立同戦

1931年から記録が
残る伝統の一戦

RITSUMEI vs. DOSHISHA

立命館大学よ勝利を掴め！



立命館大学には450を超える部活・サークルがあります。その中から自分に合った団体を選ぶもよし、無ければサークルを作ることも可能です。学生にリスクはありません。全力で学ぶこと、全力で遊ぶことの楽しさを一緒に知っていきましょう。そして、そこで得たことを表現するイベントとして学園祭があります。学園祭は、各団体の個性というものを重視しており、団体が日々の活動を発表できる場所づくりを大切にしています。学園祭へのかかわり方は自由です。年に1度の学園最大の祭を楽しみにしてください！また、学園祭を創り出すことに興味がある方は各キャンパスの特別事業部までお問い合わせください。

2019年度学園祭実行委員長
田邊 正和
(情報理工学部4回生)



アメリカンフットボール

KG 戦

9度目の
学生日本一奪還へ

PANTHERS vs. FIGHTERS



KG 戦は国内トップのレベルを誇る関西学生アメリカンフットボールリーグ DIV.1 の本学アメフト部・パンサーズと関西学院大学ファイターズの一戦を指す本学側の呼び名です。近年ではこの対決がリーグ最終戦および優勝決定戦となるため、非常に多くの観客動員数を誇ります。2018年の西日本代表決定戦の決勝として行われた試合では19-20の僅差で惜しくも破れ、西日本代表の座を逃しました。学友会でも、他団体と作る合同の委員会による広報など、多くの人に試合を見に行ってもらえる環境づくりを行っています。

大学の施設を利用しよう！

Let's use university facilities!



2018.4
OPEN

Beyond Borders Plaza (BBP)

衣笠 | ランゲージセンター1F・2F
BKC | セントラルアーク2F
OIC | A棟1F 学修支援コモンズ

「Beyond Borders Plaza (BBP)」は、2018年4月に国際交流・海外留学支援・語学学修支援を行う場としてオープンしました。BBPでは留学を経験した先輩に話を聞いたり、海外からの留学生と交流したりできるスペースです。留学相談会や国際交流イベントも定期的に行われているほか、留学関連資料の閲覧や外国語学習教材の貸出も行っていきます。

びわこ・くさつキャンパス BBP

立命館大学 OIC 分林保弘記念 国際交流館 (仮称)

Yasuhiro Wakebayashi International Exchange Center



2019.9
OPEN

* 画像はイメージです。

2019年4月に「グローバル教養学部」が新設されることに伴い、大阪いばらきキャンパス (OIC) に「立命館大学 OIC 分林保弘記念国際交流館 (仮称)」が2019年9月に開設されます。

国際交流館はグローバル教養学部を中心とした国内学生と国際学生の国際寮を兼ね備えた国際交流拠点となる施設です。国際寮に居住する学生の多様な交流だけでなく、学生や研究者が分野を超えて交流することや市民も交えた国際交流の展開も想定しており、OICの教学コンセプトである「アジアのゲートウェイ」を体現できる施設を目指します。

BKC アクロスウィング ベーカリーカフェ プログレッション

Bakery Cafe PROGRESSO



Bakery Cafe
PROGRESSO

2019.4
OPEN

BKCにオープンした新たなお店は、パン専門店「プログレッション」。88～172円 (税込) のバラエティに富んだ本格的なパンを販売し、パンのほか、クッキーやマフィン、コーヒーや牛乳なども販売します (全品ミールシステム対応)。また、コミュニティーハラル認証を受けたムスリムフレンドリーのパンも用意。目の前にあるアクロスラウンジで休憩しながらパンを食べられます。

BKC アクロスウィング 1F
営業時間 月～金 | 10:00～17:00
土・日 | 休み



1F ストリート



2～5F 国際寮エリア内観



2F 日本文化ギャラリー



寮室内観イメージ

建設概要

- 用途 | 国際寮・国際交流施設
- 建築面積 | 1,681.84 m²
- 延床面積 | 6,899.46 m²
- 構造 | 鉄骨造
- 階数 | 地上5階
- 寮室 | 209室
- 供用予定 | 2019年9月 (予定)
- フロア構成 (予定)
- 1F コンコース、多目的ホール、カフェ、キッチン、食事スペース
- 2F 日本文化ギャラリー、日本庭園、和室、分林保弘記念館
- 2～5F 国際寮

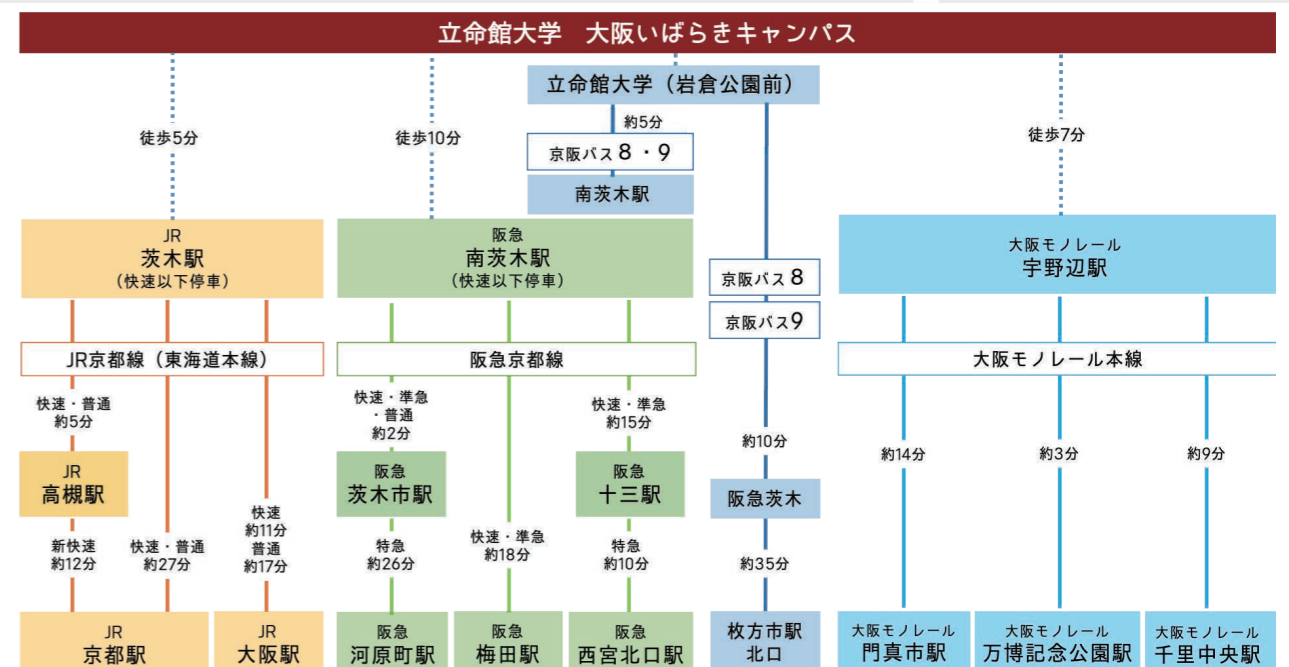
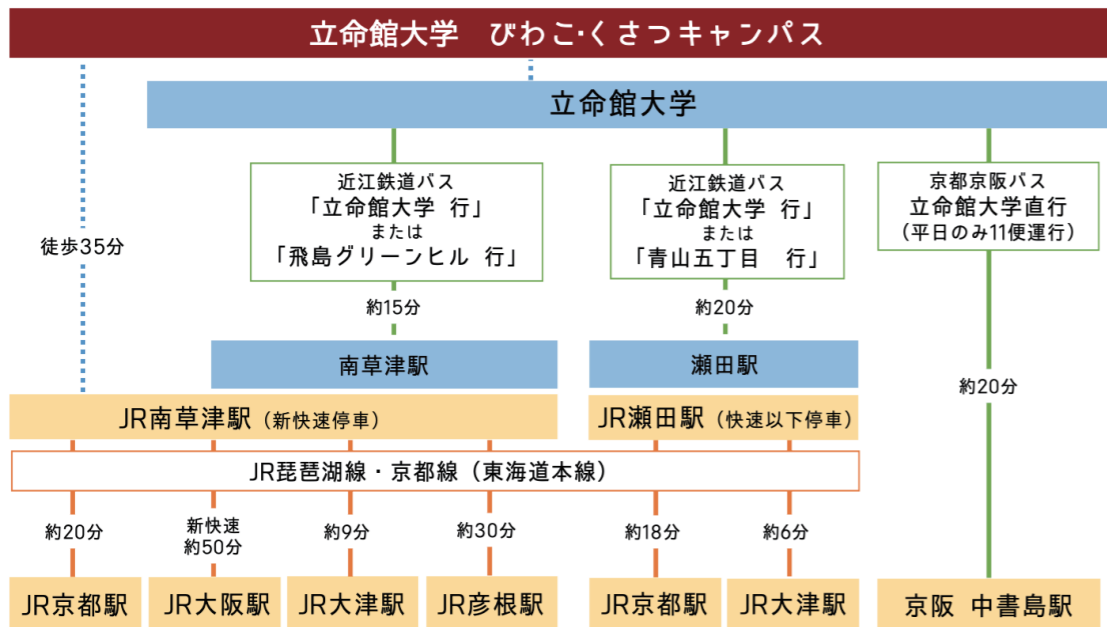
立命館大学 びわこ・くさつキャンパス (BKC)

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1



立命館大学 大阪いばらきキャンパス (OIC)

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150



立命館大学学友会 会則

第1章 総則

第1条 名称

本会は立命館大学学友会と称する。

第2条 組織

本会は立命館大学の全学生をもって組織する。

第3条 本部

本会は本部を立命館大学内に置く。

第4条 目的

1. 会員の自主的諸活動により、学生生活全般の発展向上に努め、併せて学園の発展に寄与する。
2. 平和と民主主義の理念に基づき、学問の自由と大学の自治を確立し、社会の発展に寄与する。

第5条 事業

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 学生生活の擁護と学生の権利拡大に関する活動
2. 立命館学生文化の創造に関する活動
3. 教育・研究の平和的・民主的発展に貢献する活動
4. 大学自治と学生自治の発展に貢献する活動
5. その他、前条の目的達成のために必要な活動

第6条 会員の権利義務

本会会員は次の権利を有し義務を負う。

1. 本会あるいは本会所属団体が主催する事業に参加する権利。
2. 本会所属団体に加入する権利。
3. 本会所定の会費、入会金を納入する義務。
4. 本会会則を尊重し、各機関の決定に従うこと。但し、本会会員としての義務を怠った場合あるいは本会側及び本会所定の諸規則中の自律規定に違反した場合は、権利の一部あるいは全部の行使を停止されることがある。

第7条 機関

本会は次の機関を置く。

- 中央委員会
- 中央常任委員会
- 全学自治会
- 中央事業団体

第2章 中央委員会

第8条 中央委員会

中央委員会は、立命館大学学友会の最高議決機関である。但し、本会側に特別の定めがある場合は全学学生投票（以下、全学投票）が本会の最高意思を決定する。

第9条 中央委員会の構成

中央委員会は、次の団体の責任者と第10条に定められた役員をもって構成する。

- 全学自治会
- 法学部自治会
- 文学部自治会
- 産業社会学部自治会
- 国際関係学部自治会
- 映像学部自治会
- 経済学部自治会
- 理工学部自治会
- 情報理工学部自治会
- 生命科学部自治会
- 薬学部自治会
- スポーツ健康科学部自治会
- 食マネジメント学部自治会
- 経営学部自治会
- 政策科学部自治会
- 総合心理学部自治会
- 学術本部
- 学芸総部本部
- 体育会本部
- 立命館大学新聞社
- 応援団
- 立命館大学放送局

第10条 役員

中央委員会に次の役員を置く。

- 常任委員長 1名
- 常任副委員長 若干名
- 事務局長 1名
- 学園振興委員長 1名

第11条 役員の選出

前条に定められた役員は中央委員会において選挙し選出する。

第12条 役員の任務

1. 常任委員長は本会を代表し、中央委員会を統括する。
2. 常任副委員長は常任委員長を補佐し、常任委員長に事故のある時は内1名がその職務を代行する。
3. 事務局長は、本会の事務を担当する。
4. 学園振興委員長は常任委員長を補佐し、中央委員会及び常任委員会の政策活動を担当する。

第13条 役員および中央委員の任期

役員及び中央委員会の任期は1ヵ年とする。但し、再任を妨げない。

第14条 招集

中央委員会は定例年6回の外、常任委員長が必要と認めたとき、あるいは、中央委員又は常任委員の4分の1以上の要求があるとき、常任委員長が之を招集し開催する。

第15条 成立・議決

中央委員会は構成員の過半数を持って成立し、議決は本会則に定めなき限り出席委員の過半数の賛成を要する。

第16条 会議の公開

中央委員会は原則として公開とする。但し、出席委員の3分の2以上の多数で議決した時は秘密会議とすることができる。

第17条 議決事項

中央委員会は次の事項を審議決定する。

1. 本会運営に関する基本方針
2. 予算及び決算
3. 本会会費、入会金の決定及び変更
4. 常任委員の選出
5. 中央事業団体の長の承認
6. 会計監査委員会の選出
7. 賞罰の件
8. その他重要事項

第3章 常任委員会

第18条 常任委員会

1. 常任委員会は中央委員会の議決に基づいて本会の会務を執行する。
2. 本会の事務を処理するため、常任委員会の下に、事務局を置く。
3. 常任委員会の政策活動を補助する専門委員会として学園振興委員会を置く。

第19条 常任委員会の構成

常任委員長 常任副委員長
 事務局長 学園振興委員長
その他中央委員会を構成する団体の責任者で、常任委員長が必要と認めた場合は、オブザーバーとして参加できる。但し、オブザーバーは議決権を持たない。

第20条 成立・議決

常任委員会は、常任委員総数の過半数の出席で成立し、常任委員会の議決は、出席の過半数を必要とする。

第21条 議決事項

次の事項は常任委員会の議決を必要とする。

1. 中央委員会に提出する議案
2. その他の重要事項

第4章 全学自治会

第22条 全学自治会の設置

1. 中央委員会のもとに全学自治会を置く。
2. 全学自治会は別に定める全学自治会規約によって運用される。但しその運営は本会会則及び中央委員会の議決に反することはできない。

第5章 中央事業団体

第23条 中央事業団体の設置

1. 本会は中央委員会のもとに次の中央事業団体を置く。
 - 体育会 新聞社
 - 応援団 放送局
2. 各中央事業団体は別に定める内規に従う。但し、その内規は中央委員会の承認を要する。

第6章 全学学生投票

第24条 全学投票

全学投票による決定は 本会の最高意思を決定する。

第25条 学生投票の実施

全学投票は次の場合中央委員会の議決により実施する。

1. 会員の300名以上の連名による要求があった場合。
2. その他中央委員会が必要と認めた場合。

第26条 管理

全学投票の管理は全学自治会選挙管理委員会がこれを行う。

第27条 告示

全学投票の告示は常任委員長が行う。常任委員長は投票日の7日前までに投票に関する事項、この他必要な事項を全学生に告示しなければならない。

第28条 有効投票

1. 全学投票は会員総数の10分の1以上の有効投票をもって有効とする。
2. 全学投票は有効投票の過半数の意思を持って本会の最高意思とする。
3. 全学投票が成立しない時は中央委員会の議決による。

第7章 公聴会

第29条 公聴会

本会の重要な課題について中央委員会が必要ありと認めた場合は会員の意見を聞くために公聴会を開催しなければならない。

第30条 成立

公聴会は本会員100名以上の出席をもって成立する。

第31条 表決

公聴会においては議決を行うことは出来ない。但し出席会員の意思をまとめるために表決を取ることが出来るが、これは何ら中央委員会及び本会所属団体に対する拘束力はない。

第32条 意思の尊重

公聴会において発表されたる意見、及び前条の表決の結果は中央委員会及び本会所属団体に発表しなければならない。

第8章 顧問

第33条 顧問

本会は顧問を若干名おく。内1名は学生部長とする。顧問は立命館大学の教職員に委託する。

第9章 会計

第34条 経費

本会の経費は入会金、会費、寄付金、大学からの援助金等をもってこれに充てる。

第35条 入会金・会費

本会の会費、入会金の金額は全学自治会代議員会の議決を経て中央委員会において決定する。

第36条 会計年度

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、毎年3月31日におわる。

第37条 納入期日

本会の入会金は入学と同時に、会費は各学期始めの授業料と同時に納入しなければならない。

第38条 予算・決算

本会の予算・決算は中央委員会において決定する。

第39条 会計監査

本会及び本会所属団体の会計は中央委員会のもとに設けられた会計監査委員会の監査に応じなければならない。

第40条 会計規定

本会の会計に関しては立命館大学学友会会計規定の定めに従う。

第10章 個人情報

第41条 個人情報

個人情報に関しては立命館大学学友会個人情報保護に関する規程の定めに従う。

第11章 賞罰

第42条 表彰

本会発展の為に特に顕著な貢献をしたものは中央委員会の承認を経て表彰することが出来る。表彰の方法は中央委員会において決定する。

第43条 処罰

1. 本会会員で本会の名誉を毀損しあるいは会員としての体面を汚しまたは不都合な行為があった者は中央委員会の名において忠告する。
2. 第1項の忠告にも関わらずなお改める様子のない時は、中央委員総数の3分の2以上が出席した中央委員会において出席中央委員の3分の2以上の賛成を得て、適切な処分あるいは大学当局に懲戒権の発効を要請する。
3. 第2項の処罰を受けた者は、その年度内は本会及び本会所属団体の所定の権利を失う。

第12章 改正

第44条 改正

1. 本会則の改正は、全学自治会代議員会の議決を経て、中央委員総数の3分の2以上が出席した中央委員会において、出席中央委員の3分の2以上の賛成を必要とする。
2. 本会則を根本的に改正する場合は前項のほかに全学投票を実施し賛成を必要とする。

第13章 付則

本会則は2001年4月26日より施行する。

附記

常任委員会のもとにおく事務局には財務部、調査企画部、特別事業部を置き、各部部长は常任委員会に出席する。また、学園振興委員長及び事務局長に補佐を、各部部长には次長をそれぞれ設けることができる。但し、各部部长・次長・補佐は議決権を持たない。

2004年7月16日 一部改正

2006年2月 3日 一部改正

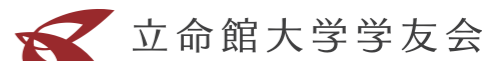
2014年6月20日 一部改正

2016年7月 9日 一部改正

2017年1月14日 一部改正

2018年6月14日 一部改正

以上



立命館大学学友会

アソビにマナビ、 マナビにアソビ。

この度は立命館大学学友会広報マガジン「Action! 2019」をご覧いただきありがとうございます。皆さんは学友会をご存知ですか？学友会と言ってもその活動は多岐にわたり多くの学生が様々な場面で活動しています。

学友会の構成員は皆さんであり、その活動は皆さん自身で創り上げていくものです。こんな大学にしたい！あんな事がしたい！など、想いをカタチにする事が出来ます。皆さんはどんな想いをカタチにしたいですか？

この「Action!」を読んで少しでも学友会のことを理解して頂き、皆さんの学生生活を充実させることに活用してもらえたらと思います。「好きになる」を学友会で発見してみませんか？



立命館大学学友会
2019年度中央常任委員長
山岸 真綸
(スポーツ健康科学部4回生)

中央事務局のご案内

Information of Central Office

中央事務局は、学友会の実務を担う事務機関です。
サークルについてのご相談など、困ったことがあればいつでもお問い合わせください。

✉ Mail info@r-circle.net

衣笠

学生会館 2F
オフィス 207

BKC

セントラルアーク
4F セントラル
アクトオフィス

OIC

A棟北ウィング
(AN)3F
Student Lounge

*学生が運営しているという都合上、
開室時間は随時変更の可能性があります。



立命館大学学友会
ホームページ

www.ritsumeai.club

立命館大学学友会 検索



編集・デザイン・制作

吉武 莞
(中央常任委員長補佐 / 情報理工学部4回生)
中央事務局調査企画部

取材・編集・写真協力

立命館大学広報課・立命館生活協同組合
立命館大学学友会
(中央事務局特別事業部・調査企画部
・立命館大学新聞社)



立命館大学学友会
公式 Facebook ページ
fb.me/ritsumeai.club



立命館大学学友会
公式 Twitter
[@rits_gakuyukai](https://twitter.com/rits_gakuyukai)

立命館大学学友会広報マガジン Action! 2019

発行日 2019年4月16日
発行人 吉武 莞 (立命館大学学友会中央常任委員長補佐)
発行 立命館大学学友会 中央常任委員会
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学 衣笠キャンパス学生会館オフィス207
<https://ritsumeai.club>

Copyright © 2019 立命館大学学友会 All rights reserved.

*本誌に記載されている情報は発行時点のものです。正誤情報がある場合は立命館大学学友会ホームページでお知らせします。